## 第 42 回全国高等学校総合文化祭長野大会について

教学指導課

#### 1 趣旨

高等学校教育の一環として、高等学校生徒に芸術文化活動を全国的な規模で発表する場を提供する ことにより、芸術文化活動への参加意欲を喚起し、創造的な人間育成を図るとともに、全国的、国際 的規模での生徒相互の交流・親睦を図る。

#### 2 主催

文化庁、公益社団法人全国高等学校文化連盟、長野県、長野県教育委員会、開催市町・同教育委員会、長野県高等学校文化連盟

## 3 開催期日

平成30年8月7日(火)~8月11日(土)5日間

#### 4 開催内容

- 1) 開会行事 【8月7日(火)】 総合開会式・パレード(松本市)
- 2) 部門開催 【8月7日(火)~ 8月11日(土)】
  - ①19 部門【各都道府県による演奏・演技発表・優秀作品の展示】 演劇、合唱、吹奏楽、器楽・管弦楽、日本音楽、吟詠剣詩舞、郷土芸能、マーチングバンド・ バトントワリング、美術・工芸、書道、写真、放送、囲碁、将棋、弁論、小倉百人一首かる た、新聞、文芸、自然科学
  - ②協賛部門【開催県が独自に設定する部門】 特別支援学校、福祉・ボランティア、軽音楽、ダンス、産業(家庭・工業・農業・商業)、 人形劇

## 5 大会規模

【参加者見込数: 130,000人】 参加校3,000校

参加生徒	引率教員	観覧者	
20,000人	4,000人	100,000人以上	

## 6 皇族のお成り

例年、秋篠宮殿下のお成りを仰ぎ、総合開会式及びパレード等をご覧いただいている。

### 7 開催までのスケジュール及び準備体制

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	5月開催決定	プレ大会開催	本大会開催
準備委員会		実 行 委 員 会	
		生 徒 実 行 委 ∫	会

平成27年11月18日に開催された第3回全国高等学校総合文化祭長野県準備委員会において、以下の事項が決定されました。

なお、これらの事項については、平成28年6月に開催される全国高等学校総合文化祭長野 県実行委員会で報告する予定です。

1 大会愛称について

# 2018 信州総文祭

2 大会テーマについて

# みすずかる信濃に若木は競い森を深める

## ・・・ 山脈渡る風に種子を拡げて

屋代高等学校2年 松宇 星果さんの作品

「みすずかる」=信濃の枕詞。高校生を競い伸びる木々に、長野県の多様な文化を森林の豊かさに、伝統文化の継承を風に、新たな文化の発信を種子にたとえた。

応募総数 736 人 (高校 412 人、中学 324 人)、870 作品

3 大会マスコットキャラクターについて



## キャラクタ一名

### 「信州なび助し

県の鳥ライチョウをモチーフとした長野県公式観光携帯サイトのキャラクターであったが、平成24年11月にアルクマと交代し、引退。現在無職という設定。長野県観光協会に着ぐるみ1体あり。

### <採用の理由>

総文祭の生徒委員会に諮ったところ、生徒の評判は大変良かった。「アルクマ」の登場によりPRキャラクターを解任され「無職」となっている「なび助」を総文祭のPRキャラクターとして採用するという復活ストーリーが共感を得たため。

4 部門ごとの開催地について

別紙のとおり

## 第 42 回全国高総文祭 開催地予定一覧

平成 27 年 11 月 18 日現在

